

東京多摩工場・食品開発研究所が「モチベーションチームアワード2024」を受賞

株式会社リンクアンドモチベーションが主催する「モチベーションチームアワード2024(※)」にて、森永乳業の食品開発研究所デザート研究室と東京多摩工場のA職場が優秀賞を受賞し、同じく東京多摩工場のB職場が入選しました。

(※)組織変革に向けた取り組みによって「エンゲージメントスコア」が上昇し組織に大きな改善がみられた「部署」を選出し表彰する式典



【食品開発研究所デザート研究室の取り組み】

食品開発研究所デザート研究室は、複数の部署が統合し、異なる経歴、知識・技術をもつメンバーが集まりました。忙しい状況が続いている中で、部署の運営を進めて成果を出す必要があることに課題を感じていました。

そこで、お互いの業務の深掘りや、コミュニケーションを活性化させるための定例会を開催するなど対策を講じました。

その結果、職場の一体感が高まり、全員で目標達成に向けた意欲が向上し、また、ナレッジの汎用化・標準化や成功・失敗事例の共有化により、エンゲージメントスコアも大幅に上昇しました。



【東京多摩工場製造部 A 職場の取り組み】

東京多摩工場製造部 A 職場では、チームの一体感に課題を感じていました。

そこでスモールミーティングや1on1面談を繰り返し行ったことで、挨拶をしない、相手の考えが分からない、勤務や休みに対する不満、ベテランと若手の見えない壁など、多くの課題が浮かび上がりました。これらに対してみんなで話し合いながら丁寧に対策を講じました。

その結果、互いを知り、職場の課題を意識し、目標に向け協働し合う職場へと変わり、エンゲージメントスコアも大幅に上昇しました。



【東京多摩工場製造部 B 職場の取り組み】

東京多摩工場製造部 B 職場では、作業・業務が繁雑となっており、教育不足や属人的な業務の増加によるトラブルの発生に課題を感じていました。

そこで課題解決のため、職場メンバーの教育や作業手順マニュアルの充実化を図り、小チーム型での担当性をルール化して権限委譲を進めました。

その結果、トラブルは大幅に削減され、派遣社員を含む全てのメンバーの意見が職場運営に反映されるようになり、エンゲージメントスコアも大幅に上昇しました。





森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、サステナビリティ中長期計画 2030 を掲げています。「食と健康」「資源と環境」「人と社会」を軸に活動を行い、7つのマテリアリティ(重要取組課題)ごとに KPI を設定し、課題解決に向けて取り組んでいます。

マテリアリティの1つである「人権と多様性の尊重」では、社員エンゲージメントの向上を KPI に掲げており、「高い専門性と多様性に富んだ活力ある人財集団」を目指した取り組みを、引き続き進めていきます。